



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動



令和4年度総合計画主要事業の進捗状況について

令和5年2月21日

**「スーパースマートシティ」の実現に向けて、
主要事業を着実に推進！**

令和4年度総合計画主要事業として位置付けた21項目について、その執行状況や推進上の課題等を的確に把握し、総合的・効率的な執行を確保するため、1月末時点の進捗状況の確認を行ったところであり、本年度の主要事業については、着実に進捗しています。

【主な項目】**1 原油価格・物価高騰等対策（別紙 2頁）**

経済的な負担増に直面する市民・事業者を幅広く支援するため、第2弾として、中小企業や医療機関、福祉施設等や介護施設などを対象とした支援金制度をはじめ、省エネ設備の導入支援、2回目となる水道料金（基本料金）の免除を実施するなど、予算総額で約76億円規模の物価高騰対策を実施

市町村別認証取得企業等数
全国第1位！

2 公共交通利用促進運動「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」（別紙 6頁）

市民や事業者に向け、年間を通して公共交通の利用促進に取り組み、中学生・高校生世代への配付等により t o t r a の発行枚数が10万枚を超えたところであり、また、市内において、エコ通勤に取り組む事業所を支援し、市内53社が「エコ通勤優良事業所認証」を取得（宇都宮市役所は令和4年5月に取得済、市町村別認証取得企業等数全国1位）

3 移住・定住の促進（別紙 9頁）

- 令和4年11月、相談者の利便性の高い駅直結の「ウツノミヤテラス」内に、移住定住相談窓口（愛称「^{ミヤカム}miya come」）を設置するとともに、本年1月から東京圏の若者や子育て世代を対象としたテレビCMや鉄道広告、インターネット広告などによるプロモーションを強化
- 現時点において、プロモーション動画は約40万再生を超え、本市への移住相談についても、前年比2.5倍の325件の相談があり、そのうち、57世帯119人が移住

裏面あり

<問い合わせ先> 総合政策部政策審議室 室長 馬場 将広 (028-632-2888)



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

〔参考〕令和4年度 総合計画主要事業一覧

No.	事業名
■ 緊急的・分野横断的なもの	
1	ごみ処理施設の速やかな復旧とごみの減量化
2	原油価格・物価高騰等対策
● 市民との協働・共創によるSSCの実現	
3	市民との協働・共創によるSSCの実現
● SSCを支える持続可能なまちづくりの基盤「NCC」	
4	J R宇都宮駅東側におけるL R T沿線のまちづくりの推進
5	都心部まちづくりの推進
6	J R宇都宮駅周辺地区における整備推進
7	L R T整備の推進
8	公共交通ネットワークの充実
9	道路ネットワークの構築
10	総合的な治水・雨水対策の推進
● 絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」	
11	地域共生社会の実現に向けた取組の推進
12	子ども・若者の健全育成環境の充実
● 誰もが活躍し、様々なモノが交流する「地域経済循環社会」	
13	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催
14	移住・定住の促進
15	魅力ある観光と交流の促進
16	持続的な産業振興の推進
● 未来への責任を果たす「脱炭素社会」	
17	脱炭素社会の実現に向けた取組の推進
● 力強く生き抜き、本市の将来を支える「人づくり」	
18	子育てと仕事の両立支援（年間を通した待機児童ゼロの達成）
再掲	子ども・若者の健全育成環境の充実
19	教育環境の充実
20	スポーツ活動環境の充実
● SSCの原動力「デジタル技術」	
21	デジタル化の推進

※ SSC＝スーパースマートシティ

令和4年度 総合計画主要事業の主な取組状況について（1月末現在）

■ 緊急的・分野横断的なもの

※ゴシック部分が11月以降の進捗箇所

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
1	ごみ処理施設の速やかな復旧とごみの減量化 (廃棄物施設課) (ごみ減量課)	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンパーク茂原の早期復旧 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 早期復旧に向けた工事監理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧工事契約締結（4月28日） ・ 復旧工事着工（5月～） ・ 工事進捗状況の確認（5月～） <ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみクレーン2基の搬出，1基目の整備開始（5月） ▶ 放水銃（手動），照明設備の復旧（6月） ▶ ごみクレーン1基目の給電ケーブル・巻上機の復旧（7月） ▶ ごみクレーン1基目の復旧（8月） ▶ ピット内の躯体調査開始（9月） ▶ ごみクレーン2基目の復旧（10月） ▶ ピット内の躯体調査において，懸念される箇所が確認されたことから，追加調査のため，再開を延期（10月） ▶ 専門家調査の実施（10月31日～11月7日） ▶ 追加工事の実施（11月11日～12月23日） ▶ ごみ受入れ再開（12月24日） ◆ 復旧までのごみ処理体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却ごみの外部処理の継続 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 搬出先変更に伴う運搬事業者との契約変更 ▶ 搬出先の運転状況に応じた焼却ごみの搬出先の変更や搬出量の調整（4月～） ▶ クリーンパーク茂原ごみ受入れ再開に伴う外部処理の終了（12月） ・ 周辺自治体との相互支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 一般廃棄物処理に係る相互支援協定の締結に向けた周辺自治体との調整（5月～） ● 焼却ごみ削減とごみの分別の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民・事業者への周知徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な場を活用した周知啓発の実施（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 分別講習会や環境出前講座の開催，各地区連合自治会，リサイクル推進員向け研修会，スーパー店頭等での説明（延べ89回） ・ 様々な媒体を活用した周知啓発の実施（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ▶ チラシの新聞折込配布，各市有施設等での配布，自治会回覧，アプリ「さんあ～る」，デジタルサイネージ広告，リサイクル推進員向け情報紙 ・ 様々な団体等と連携した周知啓発（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国際交流プラザ，もったいない運動市民会議，工業団地管理組合，不動産管理会社，大学，食品衛生責任者講習会等 ・ 生ごみ水切り器の無料配布（5月～12月） 配布場所：各地区市民センター，ごみ減量課等 ・ 火災の未然防止に向けた，電池類の混入防止策の検討（10月～） ◆ 生ごみ処理機の普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な場を活用した周知啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 上記「市民・事業者への周知徹底」の取組と同様 ・ 様々な媒体・団体等と連携した周知啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 上記「市民・事業者への周知徹底」の取組に加え市内家電量販店等に対する周知依頼（16店舗）

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生ごみ処理機の使用方法や減量効果に関する動画を作成し、YouTubeや市HPに掲載（9月～） ▶ 料理教室や調理専門学校と連携した周知（7団体） ・補助制度の拡充期限（3月末購入分まで）を公表（11月）
2	原油価格・物価高騰等対策 (保健福祉総務課) (高齢福祉課) (障がい福祉課) (保健所総務課) (生活衛生課) (子ども未来課) (子ども家庭課) (保育課) (子ども発達センター) (環境政策課) (商工振興課) (経営企画課) (サービスセンター) (学校健康課)	<ul style="list-style-type: none"> ●時宜を得た本市独自支援 ◆生活者支援・事業者支援の実施 《第一弾》 ・水道料金基本料金の免除（7・8月分※請求は9・10月） <約23万5千件 約5億円を免除> ・保育所，小中学校の給食費支援（8～3月分） ・プレミアム付商品券「宮のトク×トクチケット」の販売 （9～12月）<販売冊数533,604冊> 《第二弾》 ・医療機関，介護施設，障がい福祉施設，保育施設などに対する県の物価高騰対策支援金への上乗せとなる，支援金交付事業の市HP等による告知（12月） ・水道料金（基本料金）の免除（2・3月請求分） <約23万5千件 約5億9千万円を免除> ・宮の物価高騰等対策支援金の受付開始（12月～） ・原油価格・物価高騰対策特別資金の受付開始（1月～） ・高度化設備設置補助金（省エネ設備）の受付開始（1月～） ・営農継続支援金の受付開始（1月～） ・土地改良区等エネルギー価格高騰対策支援事業費補助金の受付開始（1月～）

■ 市民との協働・共創による「スーパースマートシティ（以下「SSC」という。）」の実現

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
3	市民との協働・共創によるSSCの実現 (スーパースマートシティ推進室) (政策審議室) (広報広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民と共有できる社会像の構築と理解促進 ◆SSCの社会像の構築 ・市民懇談会における意見交換（7月） ・市民視点からの社会像（市民の生活像）の構築に着手（8月～） ・総合計画市民懇談会において，各社会における「市民生活の姿」について整理（11月） ・総合計画市民懇談会において，各社会における「市民生活の姿」を盛り込んだ改定基本計画（素案）について協議（12月） ◆SSCに係る効果的な情報発信 ・まちづくり懇談会においてSSCの示すパンフレットを配布（6月～） 【配布実績】 6/7 戸祭（30人），7/7 明保（35人）， 7/28 城東（21人），10/18 御幸ヶ原（47人）， 11/18 城東（30人），11/29 今泉（31人）， 12/26 瑞穂野（41人），1/27 錦（予定） ・地域共生社会における生活像の政策広報（7月） ・脱炭素社会に関する政策広報（10月） ・地域経済循環社会に関する政策広報（1月） ・SSCの市民理解促進に向けた特設サイト「スーパースマートシティうつつのみや」の開設（11月24日～） ・デジタル技術などを活用した未来の暮らしを体験できる「ミヤミライ展」の開催（11月26日・27日）

■ 「SSC」を支える持続可能なまちづくりの基盤「NCC」

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
4	JR宇都宮駅東側における LRT沿線のまちづくりの 推進 (NCC推進課) (建設用地室)	<ul style="list-style-type: none"> ●東部総合公園の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆円滑な用地取得 ◀用地関連▶ <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得(6月～) ◀公園整備関連▶ <ul style="list-style-type: none"> ・第2回対話型市場調査実施(7月末～9月末) ・水路移設工事(区域の一部)着手(10月末) ●清原地域における沿線土地利用の推進(清原工業団地地区周辺, 飛山城跡停留場周辺) <ul style="list-style-type: none"> ◆地域特性を踏まえた官民連携の「まちづくり方針」のとりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり団体との意見交換(5月～計4回) ・飛山城跡停留場周辺の地域資源等の利活用に係る業務委託の発注(1月)
5	都心部まちづくりの推進 (NCC推進課) (市街地整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ●JR宇都宮駅西側におけるまちづくりの推進(都心部まちづくりビジョンの具現化) <ul style="list-style-type: none"> ◆市民・事業者等のまちづくりの機運醸成と方策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街や地元自治会等との意見交換(4月～) ・(仮称)都心部まちづくりプラン策定懇談会の開催(6月～計2回) ・議員協議会の開催(8月) <ul style="list-style-type: none"> ▶駅西側LRT整備区間及びNCCの形成促進に向けた取組方針等について公表 ・NCC形成促進に向けた取組について検討着手(8月～) ・NCCまちづくりの理解促進を図るオープンハウスの実施(12月)
6	JR宇都宮駅周辺地区における整備推進 (市街地整備課) (都市魅力創造課)	<ul style="list-style-type: none"> ●JR宇都宮駅東口地区整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年11月供用開始に向けた交流拠点施設及び交流広場の着実な整備 <ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメント協議会「宮みらい地区連絡協議会」設立(6月) ・交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」の供用開始(11月1日) ・交流広場「宮みらいライトヒル」の供用開始(11月30日) ●MICE開催の積極的な誘致 <ul style="list-style-type: none"> ◆一般社団法人観光コンベンション協会等の関係団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・主催者等に対する訪問営業の実施(4月～) <ul style="list-style-type: none"> ◀営業件数249件(医療系学会や大学など)▶ ・MICE開催支援補助制度の利用促進(4月～) <ul style="list-style-type: none"> ◀申請件数20件▶ ・アフターコンベンションメニューの充実(5月～) <ul style="list-style-type: none"> ▶先端技術を有する市内企業等と連携したテクニカルビジットプランの造成など ・MICEプロモーション動画の作成 ・開催地決定権を持つキーパーソンの招聘 <ul style="list-style-type: none"> ▶本市でのMICE開催意向の高い主催者やPCOなど、開催地決定権を持つキーパーソンを招聘(2月・3月計2回開催) ・MICEセミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ▶事業者や市民を対象としたMICEセミナーを開催(3月) ・官民連携による「宇都宮駅東口地区まちびらきイベント」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▶イルミネーション点灯式(11月5日) ▶ライトキューブ宇都宮内覧会(11月中旬) ▶まちびらき記念式典(11月26日) ▶グランドオープニングイベント(11月26・27日) <p>◀来場者数：3万人以上▶</p>

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ● J R宇都宮駅西口周辺地区整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 官民連携によるまちづくりの方針や駅前広場の整備内容についての取りまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ J R宇都宮駅西口地区まちづくり協議会などとの意見交換(4月～) ・ 学識経験者や関係機関との協議・調整(4月～)
7	L R T整備の推進 (L R T企画課) (L R T整備課) (建設用地室) (生活安心課)	<ul style="list-style-type: none"> ● J R宇都宮駅東側のL R T整備 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和5年3月開業を目指した着実な整備と宇都宮ライトレール株式会社と連携した開業準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ L R T整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 軌道工事, 電車線工事, 停留場工事, 高架構造物工事, 車両製造(4月～) ※前年度より継続 ▶ 車両納入(全17編成)(6月) 整備工事の遅れについて公表(6月) 開業時期の精査結果等について公表(8月) (開業時期: 令和5年3月→令和5年8月) 各区間の工事完了の状況 <ul style="list-style-type: none"> - 宇都宮駅東口～平石区間: 令和4年10月 - 平石～清原工業団地区間: 令和4年12月 - 野高谷町交差点区間: 令和5年3月予定 - ゆいの杜区間: 令和4年12月 宇都宮駅東口～平石区間の試運転(11月～) 試運転中の脱線の発生(11月) L R T試運転中の脱線に係る有識者会議の設置(12月) ▶ 走行安全性に関する各種調査及び調査結果を踏まえた原因の究明や再発防止策の検討(12月～) ・ 宇都宮ライトレール株式会社と連携した開業準備 開業準備に係る打合せの実施(4月～) ・ 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会等 第4回L R T整備効果検討部会(5月) 第11回交通結節点等基盤整備部会(7月) 第5回L R T整備効果検討部会(8月) 第34回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会(8月) 第12回交通結節点等基盤整備部会(11月) 第35回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会(11月) ● J R宇都宮駅西側のL R T導入 <ul style="list-style-type: none"> ◆ L R Tの事業化に向けた各種検討の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大通りの道路空間検討に係る関係機関協議 (4月～) ※前年度より継続 ・ J R宇都宮駅横断部の基本設計等に係る鉄道事業者協議 (4月～) ※前年度より継続 ・ 整備区間公表に向けた, 大通りにL R Tを導入した際の交通影響の検討や交差点の形状に合わせた停留場の検討に係る関係機関協議 (4月～) ・ 交通量調査の実施(5月) ・ 荷捌き調査の実施(7月) ・ J R宇都宮駅西側整備区間等の公表(8月) <ul style="list-style-type: none"> ▶ 検討区間の公表 「大谷観光地付近まで」 ▶ 整備区間の公表 「J R宇都宮駅東口停留場～ 宝木町1丁目・駒生1丁目付近(教育会館付近)」
		※検討区間・・・将来を見据えたまちづくりとしてL R T導入について検討する区間 ※整備区間・・・N C Cの形成の効果を早期に発現させるためL R Tを導入する区間

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅東西に立地するLRT沿線の企業・学校に対し、「通勤・通学の実態」や「LRTの導入後における交通行動の変化」を把握することを目的とした「ヒアリング調査」・「アンケート調査」の実施（11月～） ● LRT事業に関する市民理解の促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ LRT導入に伴う交通ルールの周知啓発など効果的な情報発信と機運の醸成 <ul style="list-style-type: none"> 【駅東側】 <ul style="list-style-type: none"> ◀ルールの周知▶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生，高齢者，企業等対象の交通安全教室でのLRTに関する交通安全教育（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ◀開催回数208回，参加者数30,333人▶ ・ 啓発チラシの配付（市内の小・中・高校） ・ 自動車運転者向け啓発動画の放映（市・県出先機関，警察署，運転免許センター，自動車教習所等）（4月～） ・ 歩行者・自転車利用者向け啓発動画の放映（交通安全教室，市HPでの掲載，小中学生・高校生のタブレット端末への配信，関係機関等での放映）（10月～） ・ オープンスクエアや出前講座等での交通ルール周知（4月～） ・ 民間小売店舗等における啓発グッズの配布（8月～） ・ 試運転開始に伴う交通ルール周知強化（10月～） ・ 啓発動画を安全運転管理者協議会へ提供し，安全運転管理者法定講習において活用（11月～） ・ 啓発動画（ダイジェスト版）をYouTube広告に掲載（11月～） ・ 啓発動画（ダイジェスト版）を屋外の大型ビジョンやバス停などのデジタルサイネージで放映（1月～） ◀機運の醸成▶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙やHP，SNS，オープンスクエア等による継続的な情報発信（通年） ・ オープンハウス@道の駅の開催（4～8月） ・ 車両基地でのライトライン見学会の開催（5～8月） <ul style="list-style-type: none"> ◀27回開催，参加者数810名▶ ・ ネーミングライツ，ドネーションの募集（8～9月） ・ オープンハウス@国体の開催（10月） ・ 停留場壁面の個性化デザイン公表，シート寄附の募集（10月） ・ 出張ライトライン見学会の開催（11月・R5年1月） <ul style="list-style-type: none"> ◀11/26・27，R5.1/8 参加者合計4,810名▶ ・ NCCオープンハウスの実施（12月）◀9日間，187人▶ 【駅西側】 <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり関係団体との意見交換会（6月） ・ オープンハウス・ライトライン見学会・都心部まちづくりビジョン説明会での情報発信（～10月） ・ 整備区間公表に伴うチラシ配布，ホームページの更新等（8月～） ・ JR宇都宮駅周辺や駅西側において駅西側延伸PR看板設置（11月～） ・ NCCオープンハウスの実施（12月）◀3日間，54人▶
8	公共交通ネットワークの充実 (交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ● JR宇都宮駅東側のバス路線の再編（バス路線再編計画（地域公共交通利便増進実施計画）の策定） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新設・再編路線への円滑な移行 <ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線再編に関する地域住民，企業等との意見交換の実施（4月～）

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・「バス路線再編案」の公表（8月） ・「芳賀・宇都宮東部地域公共交通活性化協議会」からのバス路線再編案に関する意見の聴取（8月） ・バス路線再編案に関するオープンハウスの開催・意見聴取の実施（11月～） ・沿線住民への自治会回覧によるバス路線再編案の周知・意見聴取の実施（1月～） <p>●公共交通の利便性の向上・利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆乗継割引制度の円滑な実施 <ul style="list-style-type: none"> ・バスと地域内交通の乗継割引制度導入に係る地区別説明会の実施（7月） ・地域内交通へのICカードシステム導入（9月～） ・バスー地域内交通間の乗継割引制度の運用開始（9月～） ◆幅広い分野と連携した「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市内各種イベント等への公共交通利用促進PRブース出展（5月～1月） ・市内の中学生へのt o t r a配付と、大学と連携した出前講座の実施（7月） ・公式ホームページやSNSアカウントの開設に加え、新聞やデジタルサイネージ等を活用したメディアミックスによる広報PRの一斉実施（7月～） ・バスと地域内交通の乗継割引制度の導入に係る地区別説明会の実施（7月） ・エコ通勤普及促進事業への参加事業所の募集（7月～12月） <エコ通勤優良事業所認証 53社が取得（市役所含む）> ・公共交通を利用した周遊イベントの実施（8月） ・地域内交通へのICカードシステム導入（9月～） ・バスー地域内交通間の乗継割引制度の運用開始（9月～） ・自転車や電動キックボードのシェアリングサービスの実証実験の実施（12月～）
⑨	道路ネットワークの構築 (道路建設課) (建設用地室)	<p>●(仮称)大谷スマートICの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スマートIC本体整備に向けた地元の理解促進と円滑な用地取得 <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に係る交渉の実施（4月～） ・第4回オープンハウスの実施（4月） <3日間開催, 114名来場> ・第5回オープンハウスの実施（11月） <3日間開催, 70名来場> ◆周辺道路の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策（宝木地区）に係る設計委託の発注（5月） ・安全対策（城山地区）に係る設計委託の発注（8月） ・周辺道路における安全対策など, 工事4件の発注（11～1月） <路肩のカラー化, 歩道拡幅など> <p>※ 参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間延伸に伴う都市計画事業認可の変更申請（7月） ・事業期間延伸に伴う都市計画事業変更認可の取得（9月）
10	総合的な治水・雨水対策の推進 (河川課) (農業企画課) (公園管理課) (下水道管理課) (下水道建設課) (危機管理課)	<p>●貯める（流域）取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆田んぼダムの普及拡大に向けた農業者の理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区と連携した田んぼダムの普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 田んぼダム研究コンソーシアム開催（5月） ▶ 田んぼダム普及方針（姿川流域）の策定（5月） ▶ 排水調整マス設置に係る農業者への意向調査（田川流域：うつのみや中央, 西鬼怒川, 海道土地改良区）（6月）

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 田んぼダム整備面積の拡大に向け、田川上流域において、農業者等に対し、次年度からの協力依頼を実施（8月～） ▶ 意向調査で協力意向のあった農業者に対し、排水調整マス設置に向けた調整及び工事を実施（11月～） <p>◆貯留浸透施設の整備に向けた効果的な貯留箇所・貯留手法の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域における雨水対策基本設計 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 浸水シミュレーションの実施（5～8月） ▶ 現地踏査（5～8月） ▶ 対策必要箇所の選定（9～10月） ▶ 対策手法の工法比較検討（11～1月） <p>●備える（減災・水防）取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民に分かりやすい統合型ハザードマップの作成と市民周知 <ul style="list-style-type: none"> ・統合型ハザードマップの作成レイアウトの整理 <ul style="list-style-type: none"> ▶ Web版ハザードマップと併せ、リスク図の見せ方等を整理（4月～）

■ 絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
11	<p>地域共生社会の実現に向けた取組の推進</p> <p>(保健福祉総務課) (高齢福祉課) (子ども家庭課)</p>	<p>●地域における支え合いの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域共生社会の実現に向けた「我が事」意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域共生社会」に関する特集記事の掲載及びロゴマークの公募開始（7月） ・ロゴマークの選定に係る一般投票の実施（9月） ・ロゴマークの決定・活用開始（11月～） ・市YouTubeチャンネル・デジタルサイネージ等におけるPR動画公開（11月～） ・PR動画に係る広告（YouTube広告・Instagram広告・HPバナー動画広告）配信開始（11月～） ・宇都宮市民福祉の祭典におけるロゴマークを掲載したグッズの配布（11月） ・イベント（宇都宮市民福祉の祭典・ミヤマライ展）や外部関係者会議等において、PR動画の紹介（11月～） ・ファミリーマート（12店舗）で近隣障がい者施設による地域密着型アート展を開催 <p>●高齢者をはじめ、障がい者や子どもなどの分野を越えた身近な包括的相談支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域における相談を「丸ごと」受け止める体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> （「(仮称) 共生型地域包括支援センター」の整備と多機関協働の中核を担う「保健と福祉の拠点（本庁・平石・富屋・姿川・河内）」の機能強化） ・地域包括支援センターや障がい者生活支援センター等との意見交換の実施（9月） ・地域包括支援センター運営協議会への事業説明（12月） <p>◆こども家庭センターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> （子ども家庭課内に母子保健と児童福祉分野の機能を一体化した「こども家庭センター」を設置するとともに、保健福祉拠点に「こども家庭センターの相談窓口」を開設） ・こども家庭センターの設置に向けた運営体制等を整理（～1月）

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
12	子ども・若者の健全育成環境の充実 (子ども未来課)	<ul style="list-style-type: none"> ●宮っこの居場所づくりの着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆宮っこの居場所の担い手の確保 【子どもの居場所の設置促進】 <ul style="list-style-type: none"> ・登録済み26か所(1月末) ・関係団体等への事業説明(民生委員児童委員協議会主任児童委員部会(5月), 地域まちづくり推進協議会役員会(7月), 自治会連合会三役会(8月), 地域まちづくり推進協議会全体会(8月), 近隣地域の自治会や小中学校(8月以降随時), 校長会議(11月) 【宮っこの居場所への支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの居場所」の開設希望者や運営者に対する相談窓口の開設(8月) ・登録団体の研修・情報交換等を行う「宮っこの居場所登録団体ネットワーク会議」の開催(10月) ・市民への「宮っこの居場所」の理解促進に向けた講演会の開催(10月) ・宮っこの居場所に係るチラシを作成し、地区市民センター等市有施設に配架(12月) ・「子どもの居場所」の開設を希望する方を対象とした準備講座の開催(12月) ・居場所づくり事業に係る専用ホームページの開設(1月)

■ 誰もが活躍し、様々なモノが交流する「地域経済循環社会」

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
13	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催 (総務広報課) (競技運営課) (観光交流課)	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策を講じた安全・安心な大会運営 <ul style="list-style-type: none"> ◆(冬季国体を踏まえた)実効性の高い感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員見直しに対応した来場者管理システム(事前申込)の導入(7月) ・参加条件におけるPCR検査対象者の整理(7月) ・選手・監督等と一般観覧者の動線分離による競技会運営の実施, 事前申込による来場者管理システムの導入(6・7・9・10月) ・選手, 監督等へのPCR検査・抗原検査の実施(9・10月) ・事業概要説明会において, コロナ禍における本市の取組について後催市へ情報提供を実施(12月) ●国体を契機とした本市の魅力発信と観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関との分野横断的な連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・観戦・観光ガイドブック掲載店舗等との企画・調整(4~7月) ・おもてなしイベントに係る宇都宮共和大学との意見交換(4~7月) ・効果的な観光振興策の企画内容等に係る観光推進委員会との意見交換(5~7月) ・国体を契機とした民間企業による本市の魅力を発信する商品の販売(宮染め手ぬぐい・羊羹)(7月) ・おもてなし推進委員会と連携した総合案内所従事者に対するおもてなし講習会の開催(8月) ・ガイドブック冊子版・電子版の作成及び電子版の誘導に向けたWEB広告配信・SNSキャンペーンを実施(8・9月) ・宇都宮共和大学や各種地域団体と連携したおもてなし・魅力発信事業の実施(9・10月) ・観光推進委員会と連携した「国体グリーン」をテーマにしたおもてなしキャンペーンの実施(9・10月)

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・国体競技会場における来場者アンケートの実施及び経済波及効果の算定（10・11月） 〈来場者 152,867人, 経済波及効果 39億円〉 (施設整備を含めると57億円) ・国体開催による再訪意欲の高まりを継続できるよう, 観光推進委員会をはじめ民間事業者と連携した観光振興事業の実施（11月～）
14	<p>移住・定住の促進 (人口対策・移住定住推進室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●移住検討者の熟度に応じたアプローチの強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆東京圏の子育て世代・若者世代へのプロモーション強化 ・プロモーションのターゲットやふさわしい媒体等の整理 ・テレビCMやその他映像コンテンツの作成, 放映に向けた調整等（8月～） ・動画共有サイトにおけるプロモーション動画の公開（12月～） 〈動画再生約40万回〉 ・インターネット広告によるデジタルマーケティングの開始（12月～） ・テレビCM, 鉄道広告等の実施（1月） ◆移住相談窓口の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置場所や機能, 運営体制等の整理（8月） ・相談窓口の愛称決定→miya come（ミヤカム） ・相談窓口の開設（11月） ・移住体験事業（みや暮らし体験）の実施（2月） ・「婚活」と「移住」を組み合わせさせたマッチングイベントの開催（3月） 〈相談者数 325件, 相談窓口を通じた移住者数 57世帯119人〉
15	<p>魅力ある観光と交流の促進 (都市魅力創造課) (観光交流課) (公園管理課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●MICE開催の積極的な誘致【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> ◆一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会等の関係団体と連携した誘致の強化 ●国際的スポーツイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆感染症対策を講じた安全・安心な大会運営 <ul style="list-style-type: none"> ・「FIBA 3x3 ワールドツアー うつのみやオープナー 2022」の開催（5月） 〈来場者数48,000人, 経済効果等4億8,200万円, 出場選手数10か国56名〉 ・「2022 ジャパンカップ サイクルロードレース」の開催（10月） 〈来場者数129,800人, 経済波及効果2億3,400万円 出場選手数16チーム93名〉 ◆大会の更なる磨き上げによる都市ブランド力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・FIBAと連携し, 「うつのみやオープナー」の試合やオープニングセレモニー等の映像を全世界へ配信（5月） 〈YouTubeでの大会映像閲覧数約200万 Views〉 〈50ヶ国以上のテレビ局で大会の様子を放映〉 ・世界シリーズ戦「UCIプロシリーズ」にグレードアップし, ドローンによる空撮映像をこれまで以上に取り入れた, 美しく迫力あるレース映像を全世界へ配信（10月） 〈YouTubeでのプロモーションや大会映像閲覧数約69万 Views〉

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力あるスポーツツーリズム事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・栃木SCと連携したアウエイツーリズムの実施（5月） <栃木SCホームゲーム「宇都宮愉快デー」においてアウエイサポーター約500人向けに観光PRを実施> ・プロスポーツチームや旅行者等の関係団体との意見交換（6・7・10・12・1月） ●大谷周辺地域の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ◆観光拠点にふさわしい施設・インフラの整備推進（周遊拠点施設や大谷公園等） <p>[旧大谷公会堂を活用した観光周遊拠点施設の整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事の実施（令和4年3月から引き続き） ・整備内容について地元等へ情報提供（4月） ・指定管理者の選定に向けた、施設管理方針等に係る専門委員への意見聴取等（10月） ・指定管理者の公募・選考（11～3月） ・建築工事等の実施（11月～） ・施設愛称の募集（2月） <p>[大谷公園・大谷景観公園の再整備に向けた基本設計の実施]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計業務の実施（6月～） ・地域代表者や景観アドバイザーとの意見交換（7月～） ・基本設計(案)の作成（12月）
16	<p>持続的な産業振興の推進</p> <p>(産業政策課) (都市計画課) (市街地整備課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな産業団地の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆民間活力による産業団地開発の早期事業化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・「うつのみや産業パーク整備促進補助金」の創設（8月） ・補助金を活用した産業団地開発の促進に向けた周知活動（8月～） ◆産業用地の需給見直しや確保に向けた手法等の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・うつのみや産業振興協議会において産業用地確保の課題等について意見聴取（7・10・12月） ・民間開発事業者を対象とした産業用地需要等に関するヒアリング（8月～） ・新たに必要となる産業用地の目標面積を「うつのみや産業振興ビジョン」に位置づけ（2月予定）

■ 二酸化炭素等の排出量を実質ゼロとし、未来への責任を果たす「脱炭素社会」

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
17	<p>脱炭素社会の実現に向けた取組の推進</p> <p>(環境政策課) (交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民・事業者・行政における取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆実効性のあるカーボンニュートラルロードマップの策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの素案に係る環境審議会の開催（7月） ・パブリックコメントの実施（8月） ・ロードマップの策定・公表（9月） ・環境省の「脱炭素先行地域」に選定（11月） ●公共交通の利便性の向上・利用促進【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> ◆幅広い分野と連携した「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」事業の実施

■ まちづくりの担い手となる「人づくり」

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
18	子育てと仕事の両立支援（年間を通した待機児童ゼロの達成） (保育課)	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士の継続的な確保 ◆新たな支援制度の周知と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士宿舍借り上げ支援事業費補助金、派遣保育士活用事業費補助金の創設（4月） ・補助制度の周知（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ▶市内の教育・保育施設、指定保育士養成施設 ・保育のお仕事就職フェア（夏）の実施（7月） ・申請の受付（宿舍借り上げ）（10月～） ・申請の受付（派遣保育士）（12月～） ・保育のお仕事就職フェア（冬）の実施（12月）
再掲	子ども・若者の健全育成環境の充実 (子ども未来課)	<ul style="list-style-type: none"> ●宮っこの居場所づくりの着実な推進 ◆宮っこの居場所の担い手の確保
19	教育環境の充実 (学校教育課) (学校管理課) (教育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ●GIGAスクール構想の推進 ◆端末の積極的な活用に向けた支援 (オンライン学習指導, 端末の持ち帰り, 教育データの利活用の検討等) <ul style="list-style-type: none"> ・市内全校における学習者用デジタル教科書（英語等）実証事業の開始（4月） ・小学校新1年生の端末使用の開始（5月） ・学校訪問における端末活用に係る指導助言（随時）〈48回〉 ・学校向け啓発資料, GIGAスクールニュースの発行（通年）〈29回〉 ・教員向け, GIGAスクール構想キックスタート研修の実施（通年）〈17回〉 ・ICT支援員による教員への指導力向上研修（随時） ・通信環境の整わない世帯へのモバイルルータ貸与更新（7月） ・AI型個別学習ドリルを活用した教育データ利活用の検討（7月～） ・協働学習ツール（schoolTakt）の機能強化（8月） (※児童生徒が1枚のシートを共同で編集することができる機能等を新たに追加) ・外国語指導助手（ALT）を活用した「オンライン英会話」の実施（10月） ・今後のGIGAスクール構想の推進に係る校長会との意見交換（1月）
20	スポーツ活動環境の充実 (スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ●北西部地域への体育施設の整備推進 ◆地元理解の促進と用地の円滑な取得 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への事業説明会の実施（4月） ・地権者への事業説明会の実施（8月） ・地権者の現地調査（用地測量, 地質調査等）に係る同意（10月） ・用地測量の実施（12～3月） <ul style="list-style-type: none"> ▶境界立会いの実施（1月～2月）

■ 「デジタル」を積極的に活用したまちづくり

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
21	デジタル化の推進 (スーパースマートシティ推進室) (経営管理課) (市民課)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域デジタル化の推進 ◆地域社会におけるデジタル活用の裾野の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶自治会連合会・地域まちづくり推進協議会への説明（5月～） ▶横展開を図る取組事例の追加（6月～）〈合計9件〉 ・スマホ基礎講座（5月～） ・「地域活動団体のデジタル化に向けたセミナーとお悩み相談会」の募集開始（1月～）

No	項目 (所管課)	令和4年度 主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ◆地域課題の解決に向けた先進技術・データ等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実証実験事業計画の決定（7月） ⇒継続プロジェクト 3件 ⇒新規プロジェクト 2件 ▶ 交通結節点における多機能型デジタルサイネージを活用した回遊促進プロジェクト（12月から実証実験を実施中） ▶ アプリを活用した子育て世代の頼りあい促進プロジェクト（1月から実証実験を実施中） ▶ 3Dモデル等を活用したデジタルシティ体験プロジェクト（2月から実証実験を実施中） ▶ 地域内カーボンニュートラル実現のためのエネルギー基盤技術実証プロジェクト（電力データをもとにモデル構築中） ▶ ドライブレコーダーやAI解析を活用したLRTの運行ルートリスクアセスメントプロジェクト（実証実験に向けて現地調査中） ●行政デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆スマート窓口の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続オンライン化の拡充 ▶ 電子申請共通システムによる手続の電子化（4月～） ＜1月末82手続（4月からの延申請件数：10,073件）＞ ※このほか、マイナポータルによる手続の電子化（20手続） ・窓口サービスのDX推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 都市計画課、建築指導課でのキャッシュレス決済の運用開始（12月～） ▶ 地区市民センター等へのキャッシュレス決済の運用開始予定（2月～） ◆マイナンバーカードの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・普及促進に係る周知の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たに、大型映像、とちぎテレビデータ放送により、申請方法等を周知（5月～） ・窓口交付体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 休日臨時交付窓口の開設（4月～） ＜開設回数：18回、交付件数：2,043件＞ ※暫定値 ▶ マイナンバーカード専用窓口を増設（8月～） ▶ マイナンバーカード周知用パンフレットの作成・配布（8月～） ▶ 市民課における平日のマイナンバーカード交付窓口の受付時間を延長＜午後7時まで＞（1月～） ・申請機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 企業等一括申請の実施（4月～） ＜実施回数：17回、申請件数：499件＞ ▶ 国による携帯電話販売店での申請サポートの周知（7月～） ▶ 大型商業施設等における出張申請サポートの実施（8月～） ＜実施回数：332回、サポート件数：15,943件＞ ・マイナポイント第2弾の開始（6月30日～） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 健康保険証利用申込、公金受取口座登録に対するポイント付与（15,000円相当） ▶ マイナポイント付与対象のマイナンバーカードの申請期限延長（2月末まで）